



外国出張報告書

平成 26 年 8 月 18 日

1. 出張国名 マーシャル
2. 出張月 平成 26 年 7～8 月
3. 出張目的 有機質肥料の窒素含量分析、土壌中硝酸態窒素等の溶脱試験準備、
発酵床豚舎モニタリング：A

4. 成果の概要

ローラ地区の地下水汚染源となっている豚糞尿や畑肥料の硝酸態窒素等の地下浸透状況を把握するため、ライシメータによる溶脱試験を行うことにしている。

ライシメータに積載する肥料等の窒素含量を一定にした条件で行うには、窒素含量を測定しておく必要があり、ケルダール分析を現地で行った。

また、次回出張に向けて速やかにライシメータ試験による各肥料源の溶脱特性を開始できるよう、不攪乱土壌の採取、初期土壌の化学性分析、残留窒素の溶脱を行った。

豚舎から排出される糞尿の地下水汚染防除技術として、既存豚舎隣に発酵床豚舎 1 房（発酵床面積 6.6m²（3.0×2.2m））を整備している。

今出張では、庭草の除草された草チップを床材として使用しているのを確認し、床材のモニタリング、化学分析を行った。また、床材を粉砕するチップパーの不具合で、なかなか実現出来なかったヤシ枝葉のチップ化を、実施し、新たな床材を豚房に敷き詰め、飼育を再開した。